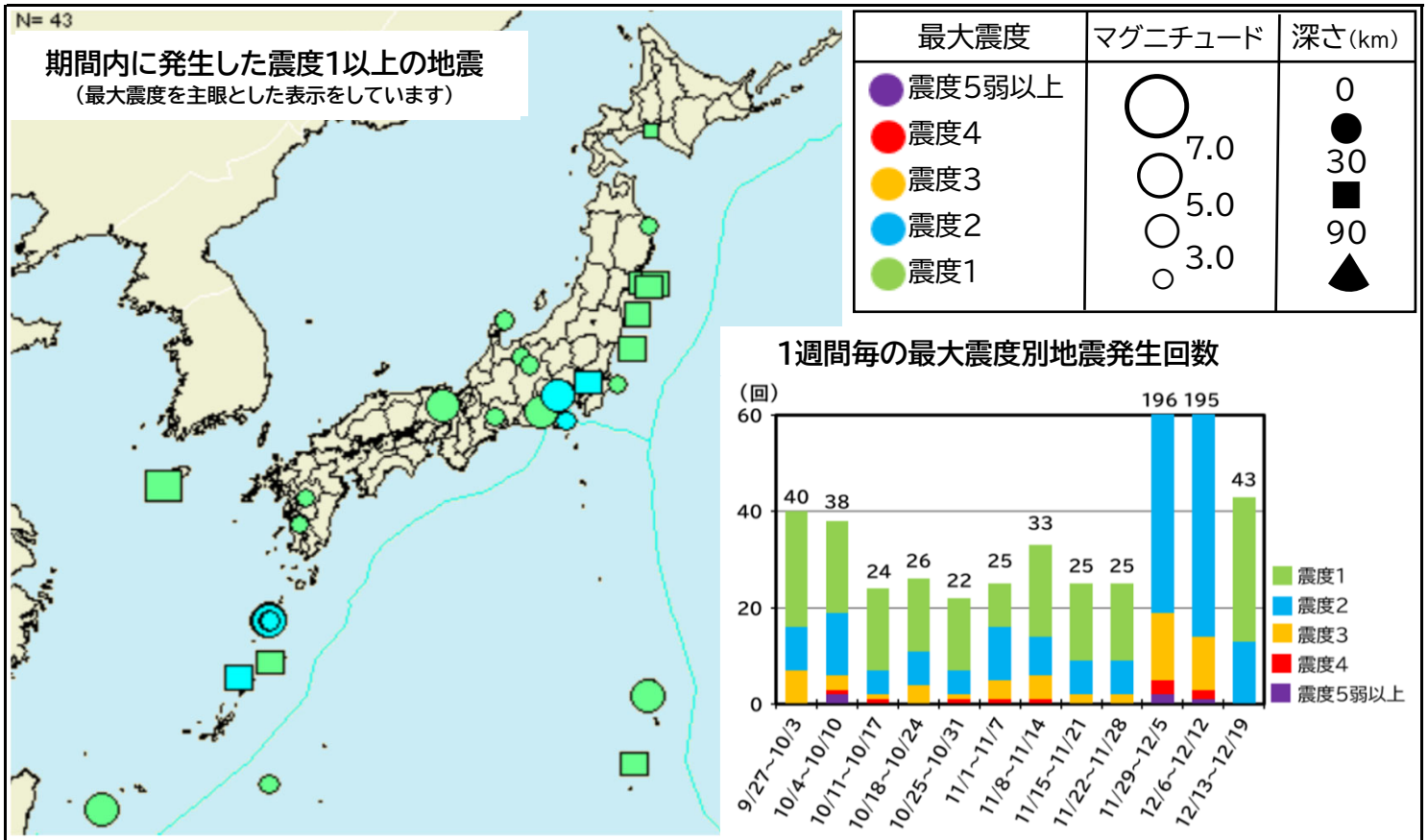


この期間の最大震度は2 (トカラ列島近海の地震は小康状態)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



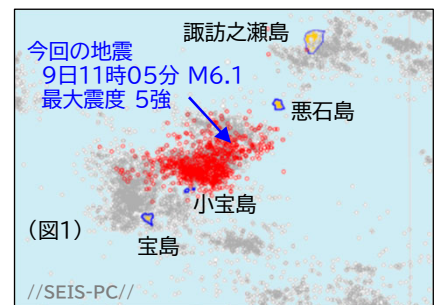
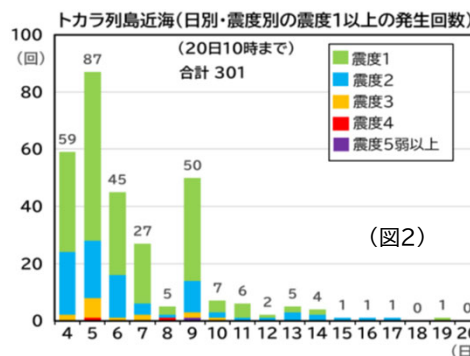
主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が43回発生。トカラ列島近海の地震は小康状態 ■
- ・この期間の最大震度は2であり、震度1以上を観測した地震も43回で、前2期間の活動と比べて穏やかな活動であった。
- ・12月4日から鹿児島県トカラ列島近海で多発している震度1以上を観測する地震は、この期間13回で小康状態となっている(トピックス参照)。
- ・14日17時19分に朝鮮半島南部(済州島付近)で発生した地震(M5.1、深さ35km)により長崎県五島市で震度1を観測した(トピックス参照)。

トピックス

トカラ列島近海(悪石島近海)の地震活動

- ・12月4日12時頃から、悪石島と小宝島の間を震源とするトカラ列島近海の地震活動(図1参照)は、10日以降、小康状態となっている(図2参照)。
- ・図2のグラフを見ると10日以降発生数が少なくなっているが、過去の活動例では一旦少なくなっても、その後、数が再び多くなるような増減を繰り返す活動もあるので、もう少しの間は注意が必要。



1997年10月以降の震央分布図(M≥2.0)
赤丸:2021年12月以降に発生した地震
灰丸:赤色の地震より前に発生した地震
(注:島嶼部は地理的關係から内陸部に比べて地震観測網が粗いため、震源精度が一段低いことに注意)

韓国済州島付近の地震

- ・14日に済州島付近で発生した地震(M5.1、深さ35km)により長崎県五島市で震度1を観測した。
- ・韓国で発生した地震で日本で震度1以上を観測することは珍しいことだが、そもそも韓国国内を震源とする地震は、日本とは比較にならない程少なく、韓国気象庁によると韓国では被害を起こす地震は少なく、M3以上の地震は年間平均で10回程度。
- ・1978年以降、最大規模の地震は2016年9月12日慶州地域で発生したM5.8の地震(韓国気象庁HPより)。
- ・韓国気象庁は日本同様、政府の機関として地震や津波及び火山に関する情報発表を担っており、韓国国内の観測点からリアルタイムで収集した観測データにより津波警報や地震情報の発表を行っている(韓国気象庁HPより)。